| 科目ナンバリング | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<英訳> | 外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1<br>Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)I-E1 | | | 担当者所属職名・氏名 | 法学研究科　教授　　山下　徹哉 | | |
| 群 | 人文・社会科学科目群 | 分野(分類) | 外国文献研究 | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | C群 | 単位数 | 2単位 | 週コマ数 | 1コマ | 授業形態 | 演習（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・前期 | 曜時限 | 火5 | 配当学年 | ２回生以上 | 対象学生 | 全学向 |

**[授業の概要・目的]**

アメリカを始めとする世界各国の会社法に関する基礎的素養を身につけ、外国語文献の原書を読解する能力を高めることを目的に、Claire A. Hill & Brett H. McDonnell, eds, Reserch Handbook on the Economics of Corporate law (Edward Elgar 2012)に掲載された論文のうち1～2本を講読する。

本書は、様々なテーマに関する論文を掲載しているが、いずれも指導的な立場の研究者が執筆を担当している。

この授業では、毎週、輪読形式でその精読を行う。受講生が割り当てられた担当部分について日本語訳を発表し、それに教員が解説・補足を加えるかたちで進める。すべての受講生が必ず予習をして臨み、当てられた受講生以外の受講生も適宜、意見・質問を出すこととする。

**[到達目標]**

法学・政治学に関する英語の専門的文献を精読することにより、外国の法・政治に関する基礎知識を獲得するとともに、正確かつ批判的に外国語文献の原書を読むための技術を身につける。

**[授業計画と内容]**

第1回　イントロダクション
アメリカ法およびこの授業で取り上げるテキストの概要を説明する。使用すべき辞書・辞典および基本的な概説書などを紹介し、授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。
第2回～第13回　Claire A. Hill & Brett H. McDonnell, eds, Reserch Handbook on the Economics of Corporate law (Edward Elgar 2012)の精読
「授業の概要・目的」で示した方式によって、Claire A. Hill & Brett H. McDonnell, eds, Reserch Handbook on the Economics of Corporate law (Edward Elgar 2012)を精読し、内容について理解を深める。講読部分の内容と受講生の習熟度によって進度は大きく異なってくるため、毎回の予定を示すことはできないが、全体を通じて1～2本の論文を読み終えることを目標とする。
第14回　まとめ
12回にわたる精読の成果をまとめ、講読する中で浮かび上がってきた論点や疑問点について全員で議論する。切りのよいところまで読了できなかった場合、この回を補充に充てることもある。
第15回　期末試験
学習到達度の評価を行う。
※フィードバック方法は別途連絡する。

**[履修要件]**

外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。

**[成績評価の方法・観点]**

【評価方法】
平常点（出席状況、授業中の発言等。30%）および期末試験の点数（70%）により評価する。
【評価基準】
到達目標について以下の評価基準に基づき評価する。
＜平成２６年度以前入学者＞

外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)へ続く↓↓↓

**外国文献講読（法・英）Ⅰ-E1(2)**

80～100点：目標を十分に達成しており、優れている。
70～ 79点：目標について標準的な達成度を示している。
60～ 69点：目標につき最低限の水準を満たすにとどまる。
0～ 59点：目標について最低限の水準を満たしておらず、さらに学習が必要である。

＜平成２７年度以降入学者＞
96 ～100点：極めて優れている。
85 ～95点 ：特に優れている。
75 ～84点 : 優れている。
65 ～74点 ：合格基準に達しており、学修の効果が認められる。
60 ～64点 ：合格基準に達しているが、更なる努力が求められる。
0 ～59点 ：不合格。

**[教科書]**

Claire A. Hill & Brett H. McDonnell, eds 『Reserch Handbook on the Economics of Corporate law』（Edward Elgar）ISBN:978-1848449589（授業に必要な資料はプリント配布する。）

**[参考書等]**

（参考書）
授業中に紹介する

**[授業外学修（予習・復習）等]**

授業中に別途指示する。

**[その他（オフィスアワー等）]**

・課題提出に利用するため、電子メール（携帯メールは不可）が使えることが望ましい。
・受講生は、必ず予習をして授業に臨むとともに、授業中、分からないことについては積極的に質問をすることを期待する。